

兵庫県下の経済動向

平成25年3月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、下げ止まりの兆しが窺われる。生産は下げ止まりつつあるほか、個人消費は一部に持ち直しの動きがみられる。輸出は長らく減少を続けたが、足もと増加した。住宅投資は持ち直しているほか、公共投資は増加している。一方、設備投資は引き続き増加計画にあるものの、弱めの動きが拡がりつつある。この間、雇用・所得環境は改善の動きが一服している。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が7か月ぶりに前年を下回った。

乗用車販売は、軽自動車が増加したものの、普通乗用車および小型乗用車が減少し、全体では6か月連続で前年を下回った。家電販売は、スマートフォン等が引き続き好調であるものの、薄型テレビが大幅な減少を続けていることから、全体としても低調に推移している。

設備投資は、非製造業は減少を見込んでおり、製造業は増加計画となっているものの、下方修正の動きが拡がりつつある。

住宅投資は、持家、貸家、分譲が減少し、全体では2か月連続で前年を下回った。

公共工事は、国、独立行政法人等が増加したものの、兵庫県、神戸市で大幅減となったことから、5か月ぶりに前年を下回った。

貿易は、輸出はEUおよび中国向けが減少したものの、米国およびアジア向けが増加し、14か月ぶりに前年を上回った。また、輸入についても3か月ぶりに前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、前月から横ばいで推移している。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を上回り、新規求人数は前年を上回った。

また、所定外労働時間、常用労働者数、一人当たり名目賃金は、いずれも前年を下回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年並みの水準で推移している。

企業倒産は、件数、金額とも前月および前年を下回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

12月の兵庫DIは、先行指数57.1%、一致指数33.3%、遅行指数25.0%となった。

12月の兵庫CIは、先行指数86.9、一致指数89.6、遅行指数99.8となった。

兵庫DIは、先行指数が2か月連続で好不況の判断の分かれ目となる50%を上回り、一致指数が5か月連続で50%を下回った。

一方、兵庫CIは、先行指数、一致指数は3か月ぶりに前月差増、遅行指数は2か月ぶりに前月差減となった。

県統計課は基調判断を「一致指数は悪化を示している」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

1月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は87.7、前月比0.7%低下。出荷指数は83.3、同4.1%低下。在庫指数は124.5、同0.6%低下。在庫率は130.4、同91.9%低下。生産指数は横ばい、出荷指数が2か月ぶりに低下、在庫指数が4か月連続で低下した。

前年同月比(原指数)では、生産が12.2%減で11か月連続、出荷は13.3%減で12か月連続で低下した。また在庫は0.2%減で31か月ぶりに低下した。

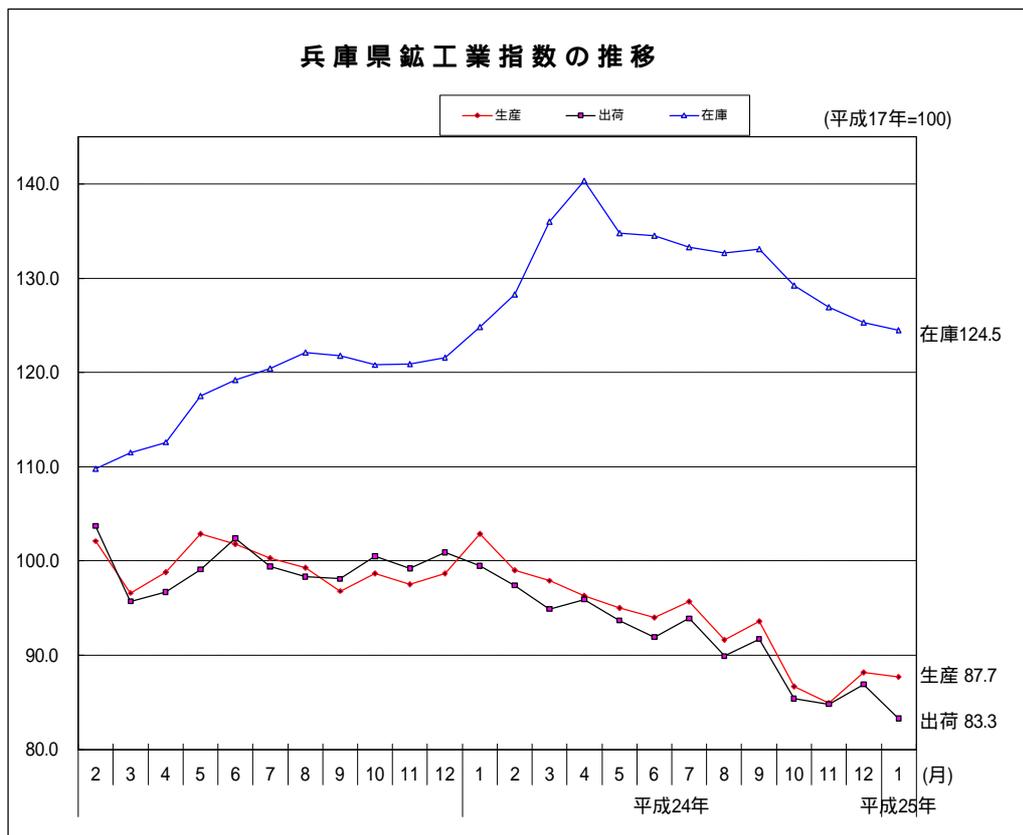
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、鋼半製品、粗鋼等の「鉄鋼」が11.6%、旅客車、機関部品等の「輸送機械」が8.6%、カーナビゲーション等の「情報通信機械」が4.3%、一般用タービン発電機、リチウム電池等の「電気機械」が3.2%、各々上昇し、電界効果型トランジスタ等の「電子部品・デバイス」が9.7%、ガス風呂がま、橋りょう等の「金属製品」が6.7%、ビール類等の「食料品」が4.4%、一般用蒸気タービン等の「一般機械」が3.4%、石油化学品製造用触媒等の「化学」が2.8%、各々低下した。

県統計課は、基調判断を「下げ止まりの兆しが見られる」とした。

1月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整済指数	対前月比増減(%)	原 指 数	
				対前年同月比増減(%)
生 産	87.7	0.7	81.4	12.2
出 荷	83.3	4.1	76.2	13.3
在 庫	124.5	0.6	128.5	0.2
在 庫 率	130.4	91.9	147.9	3.8

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



1月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	89.5	11.6	上昇	鋼半製品、粗鋼、特殊鋼熱間圧延鋼材、亜鉛めっき鋼板
			低下	普通鋼鋼管、小型棒鋼、鍛鋼品、普通鋼冷間仕上鋼材(磨棒鋼・線類)
金属製品	81.8	6.7	上昇	ばね座金、うす板ばね、ガス温風暖房機、PC鋼より線
			低下	ガス風呂がま、橋りょう、鋼管製管継手、石油温水給湯暖房機
一般機械	79.8	3.4	上昇	貯蔵槽、反応用機器、コンベア、はん用内燃機関
			低下	一般用蒸気タービン、蒸気タービン部品、ショベル系掘削機械、熱交換器
電気機械	119.9	3.2	上昇	一般用タービン発電機、リチウム電池、リチウムイオン蓄電池、非標準油入り変圧器(10000kVA以上)
			低下	電力変換装置、開閉制御装置、高圧遮断器、プログラマブルコントローラ
情報通信機械	93.0	4.3	上昇	カーナビゲーション、固定通信装置、カーオーディオ、レーダー装置
			低下	陸上移動通信装置(携帯電話以外) 携帯電話、テレメータ・テレコントロール、パーソナルコンピュータ
電子部品デバイス	79.1	9.7	上昇	線形半導体集積回路、アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、PDPモジュール、シリコントランジスタ(1W以上)
			低下	電界効果型トランジスタ、トランス(コイルを含む)、アクティブ型液晶素子(7.7インチ未満)、モス型半導体集積回路(ロジック)
輸送機械	75.4	8.6	上昇	旅客車、機関部品、特殊ボデー、懸架制動装置部品
			低下	特殊自動車、鋼船、二輪自動車(125ml超)、ショベルトラック
化 学	82.3	2.8	上昇	無水酢酸、シクロヘキサン、酸素、脂肪酸
			低下	石油化学品製造用触媒、溶剤系合成樹脂塗料、化粧品、医薬品
食 料 品	94.5	4.4	上昇	清酒、米菓、牛乳、冷凍調理食品
			低下	ビール類、めん類、パン類、砂糖

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた2月の県内百貨店売上高は、前年同月比0.9%減の143億69百万円で、7か月ぶりに前年を下回った。寒さが響き全般的に春物衣料が伸びなかった。

神戸地区は1.0%減。売り上げの大きな婦人服が前年割れし、全体を引き下げた。

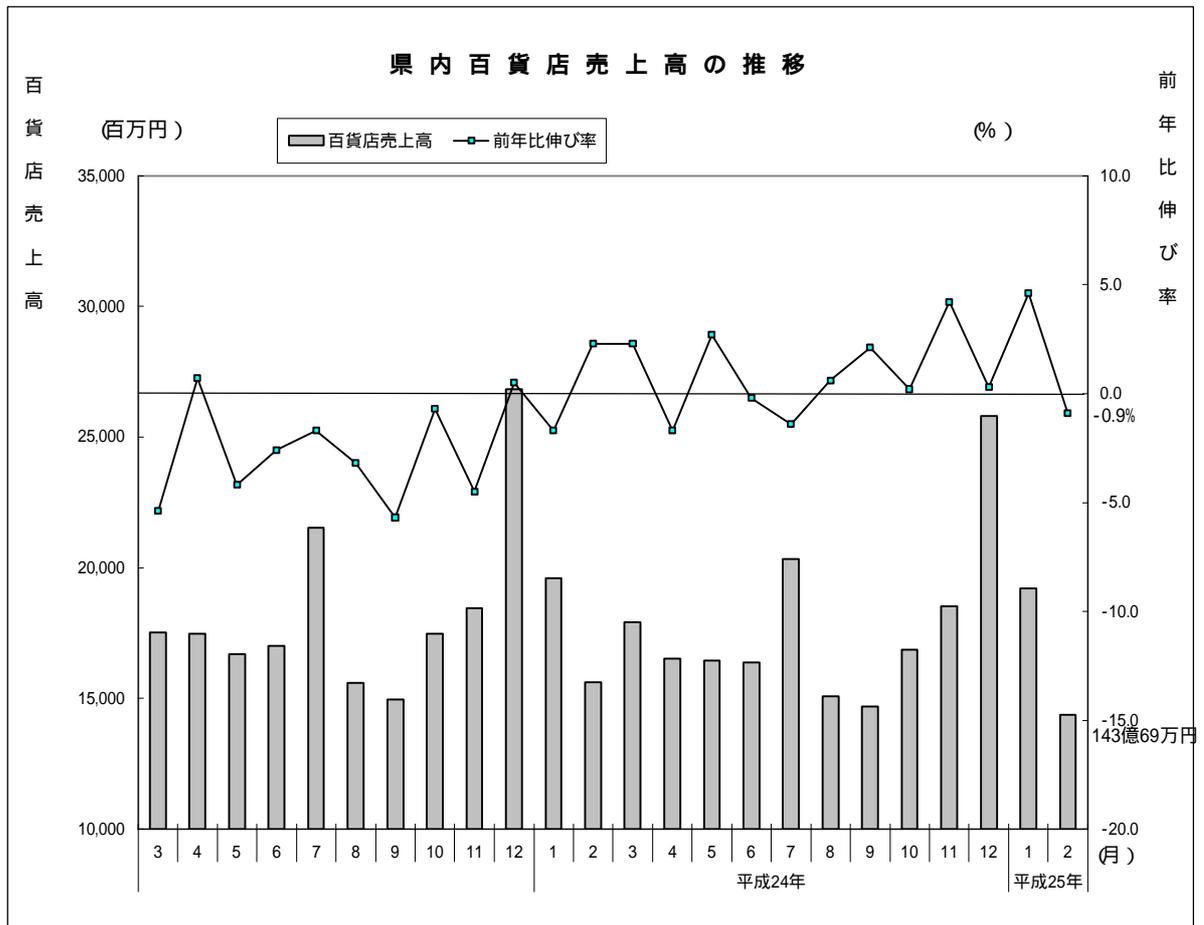
姫路・加古川地区は0.5%減。昨年開催した宝石展がなかった反動やインテリア雑貨などでヒット商品が少なかったことで雑貨が11%の大幅減となった。

2月の県内百貨店売上高

品目 \ 地区	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	542(4.2)	175(4.9)	717(4.4)
婦人服・洋品	3,247(3.7)	571(1.7)	3,818(3.4)
子供服・洋品	245(0.3)	72(9.0)	318(2.2)
身の回り品	1,208(7.6)	236(17.9)	1,445(9.2)
家庭用品	507(2.6)	133(2.6)	641(1.5)
食料品	3,829(0.8)	802(0.6)	4,631(0.6)
雑貨	1,602(5.3)	337(11.0)	1,940(6.3)
その他	593(0.9)	264(5.6)	857(1.0)
計	11,777(1.0)	2,592(0.5)	14,369(0.9)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月比伸び率%
神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。

資料：兵庫県百貨店協会



【個人消費】『新車登録』

県内2月の乗用車新車登録台数は19,116台、前年同月比7.4%減と6か月連続で前年同月の実績を下回った。

2月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は5,698台(前年同月比9.4%減)、小型乗用車は5,422台(同13.9%減)、軽乗用車は5,821台(同0.3%増)、乗用車合計で16,941台(同7.9%減)となった。

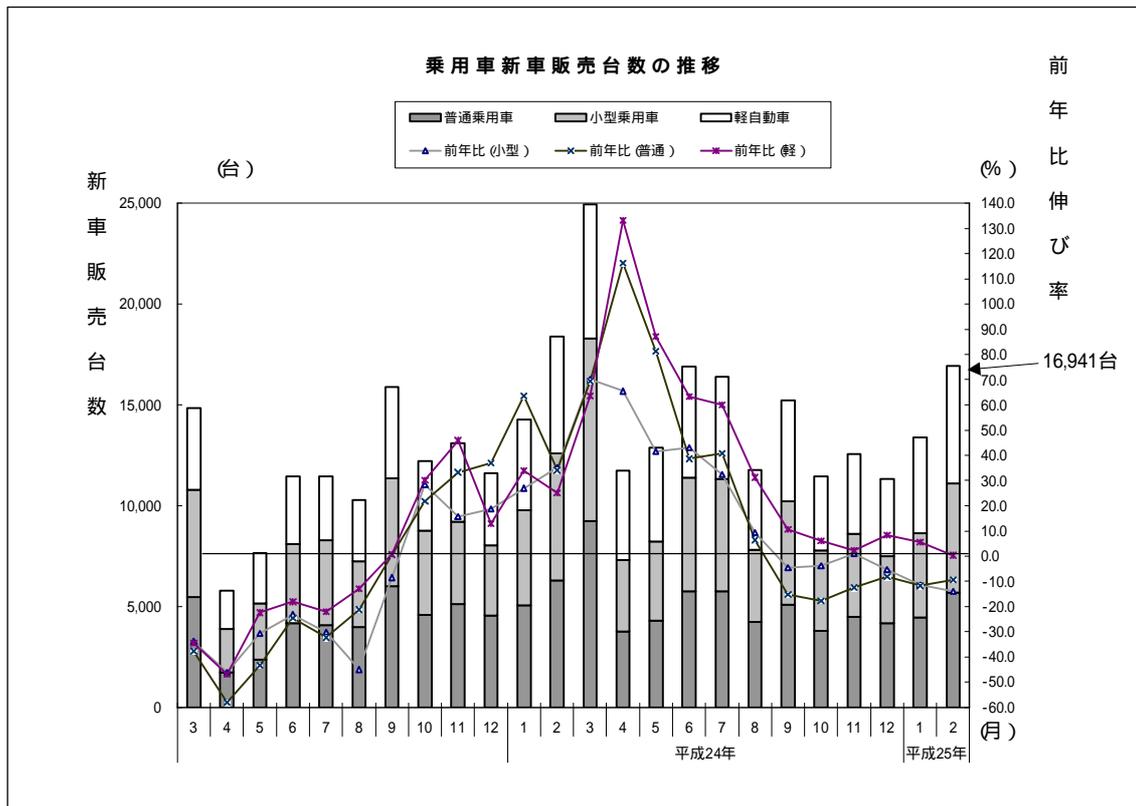
また貨物車等では、普通貨物車は205台(同6.8%減)、小型貨物車は597台(同1.0%減)、軽貨物車は1,347台(同1.2%減)、バスは26台(同58.7%減)となった。

2月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	5,698	9.4	125,388	11.0
小型乗用車	5,422	13.9	136,231	15.4
軽乗用車	5,821	0.3	151,271	2.6
乗用車合計	16,941	7.9	412,890	8.1
普通貨物車	205	6.8	10,761	1.1
小型貨物車	597	1.0	19,159	2.6
軽貨物車	1,347	1.2	33,655	13.5
貨物車合計	2,149	1.7	63,575	8.2
バス	26	58.7	914	17.3
登録車総計	19,116	7.4	477,379	8.1

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が3月11日に発表した機械受注統計によると、平成25年1月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、24年12月前月比1.6%減の後、25年1月は同3.0%減の1兆7,976億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、24年12月前月比2.8%増の後、25年1月は同13.1%減の6,544億円となった。

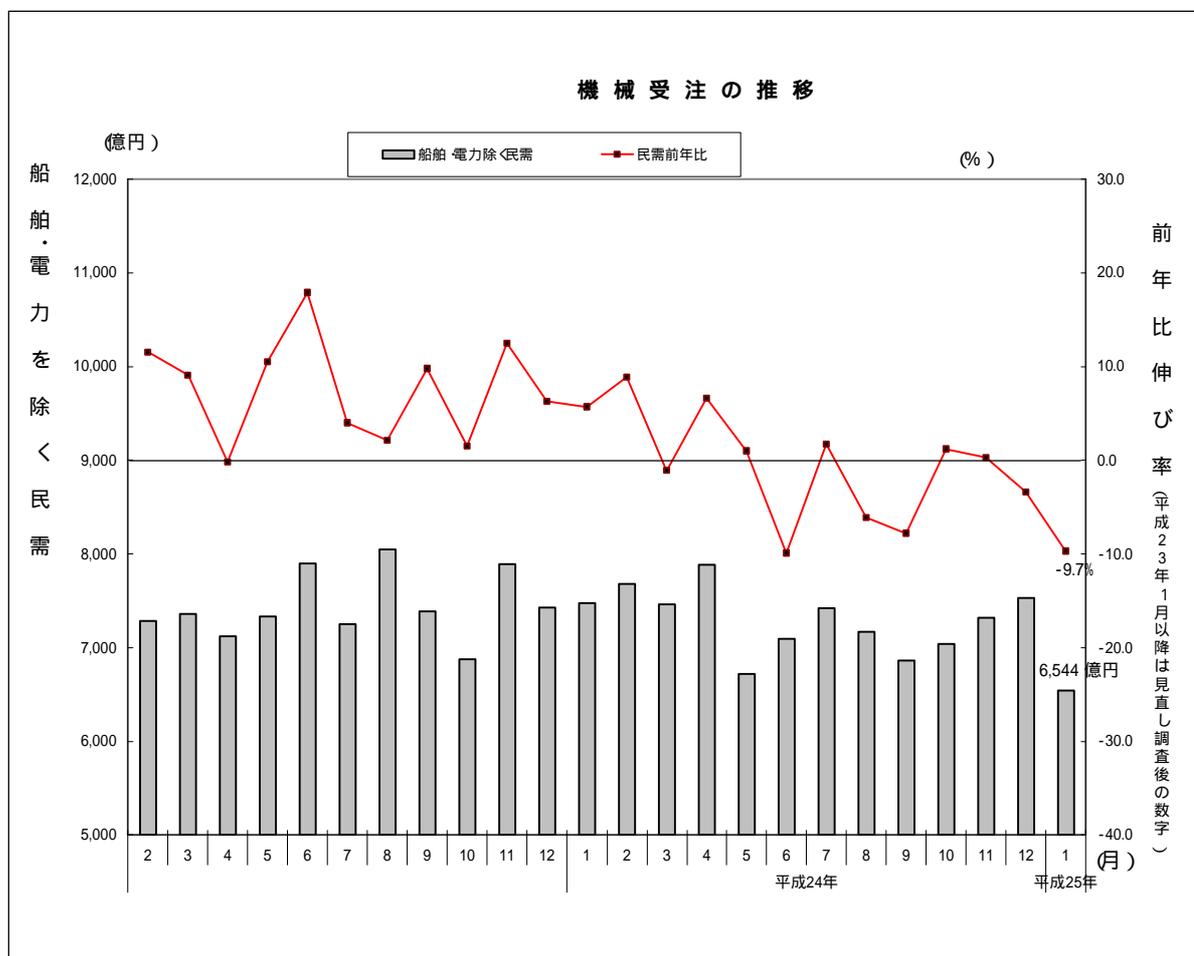
内訳をみると、製造業が同13.2%減の2,568億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同6.3%減の4,099億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、石油製品・石炭製品(115.7%増)、パルプ・紙・紙加工品(48.6%増)、精密機械(41.3%増)等の5業種で、造船業(34.7%減)、金属製品(28.8%減)、化学工業(25.8%減)、情報通信機械(24.3%減)、非鉄金属(16.7%減)、その他輸送用機械(13.9%減)等の10業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、鉱業・採石業・砂利採取業(47.8%増)、運輸業・郵便業(27.6%増)、農林漁業(27.6%増)等の5業種で、不動産業(36.8%減)、電力業(27.7%減)、通信業(7.4%減)、金融業・保険業(3.6%減)等の7業種は減少となった。

兵庫県下においては、2012年度設備投資額は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

* 全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2012年12月 兵庫県
設備投資計画：全産業前年度比+16.2%(製造業+25.9%、非製造業 12.4%)



機械受注統計（平成25年1月分）

	24年 1~3月 実績	4~6月 実績	7~9月 実績	10~12月 実績	25年 1~3月 見通し	24年 10月 実績	11月 実績	12月 実績	25年 1月 実績
受注総額	67,292 (7.1) [3.2]	58,815 (-12.6) [-4.0]	53,704 (-8.7) [-8.3]	55,231 (2.8) [-9.7]	61,026 (10.5) [-6.5]	17,873 (-1.6) [-6.9]	18,827 (5.3) [-8.6]	18,530 (-1.6) [-12.5]	17,976 (-3.0) [-24.8]
民需	26,253 (-4.2) [-1.8]	26,542 (1.1) [-5.8]	25,763 (-2.9) [-7.1]	25,581 (-0.7) [-5.6]	29,312 (14.6) [12.0]	8,015 (-10.7) [-4.2]	9,235 (15.2) [-11.6]	8,331 (-9.8) [-1.2]	7,729 (-7.2) [-9.1]
” (Ex 船・電)	22,620 (0.9) [3.3]	21,702 (-4.1) [-1.7]	21,456 (-1.1) [-4.6]	21,894 (2.0) [-0.8]	22,077 (0.8) [-1.5]	7,044 (2.6) [1.2]	7,321 (3.9) [0.3]	7,529 (2.8) [-3.4]	6,544 (-13.1) [-9.7]
製造業	9,804 (0.1) [-0.5]	9,234 (-5.8) [-7.6]	8,942 (-3.2) [-9.5]	8,590 (-3.9) [-11.1]	8,584 (-0.1) [-12.0]	2,764 (-3.6) [-13.3]	2,870 (3.9) [-10.5]	2,957 (3.0) [-9.8]	2,568 (-13.2) [-19.0]
非製造業 (Ex 船・電)	12,791 (0.5) [6.4]	12,794 (0.0) [3.1]	12,808 (0.1) [-1.3]	13,612 (6.3) [7.4]	13,662 (0.4) [8.2]	4,480 (2.8) [13.3]	4,757 (6.2) [9.1]	4,376 (-8.0) [1.6]	4,099 (-6.3) [-1.5]
官公需	7,496 (10.9) [30.6]	7,811 (4.2) [26.7]	7,115 (-8.9) [18.1]	6,669 (-6.3) [-1.5]	7,757 (16.3) [-12.7]	2,146 (-18.7) [3.8]	2,091 (-2.6) [7.3]	2,433 (16.4) [-10.9]	1,798 (-26.1) [-21.8]
外需	27,613 (6.6) [-1.3]	22,904 (-17.1) [-9.4]	19,867 (-13.3) [-18.0]	21,886 (10.2) [-16.5]	22,967 (4.9) [-16.0]	6,854 (9.4) [-12.8]	8,020 (17.0) [-9.6]	7,012 (-12.6) [-24.1]	6,675 (-4.8) [-36.7]
代理店	2,946 (10.2) [20.4]	2,768 (-6.1) [7.8]	2,705 (-2.3) [11.7]	2,614 (-3.3) [-1.8]	3,364 (28.7) [13.3]	826 (-2.5) [-3.6]	879 (6.4) [-0.7]	909 (3.4) [-1.2]	902 (-0.7) [2.2]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内1月の新設住宅着工戸数は、総数で2,155戸(前年同月比23.7%減)となり、持家、貸家、分譲住宅、給与住宅とも減少し、全体では2か月連続で前年を下回った。また、前月比では1,038戸の減少となった。

1月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	731	6.0	23,561	8.6
・分譲住宅	936	14.4	20,794	5.0
貸家系・貸家	480	48.9	24,649	1.6
・給与住宅	8	33.3	285	25.0
総数	2,155	23.7	69,289	5.0

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

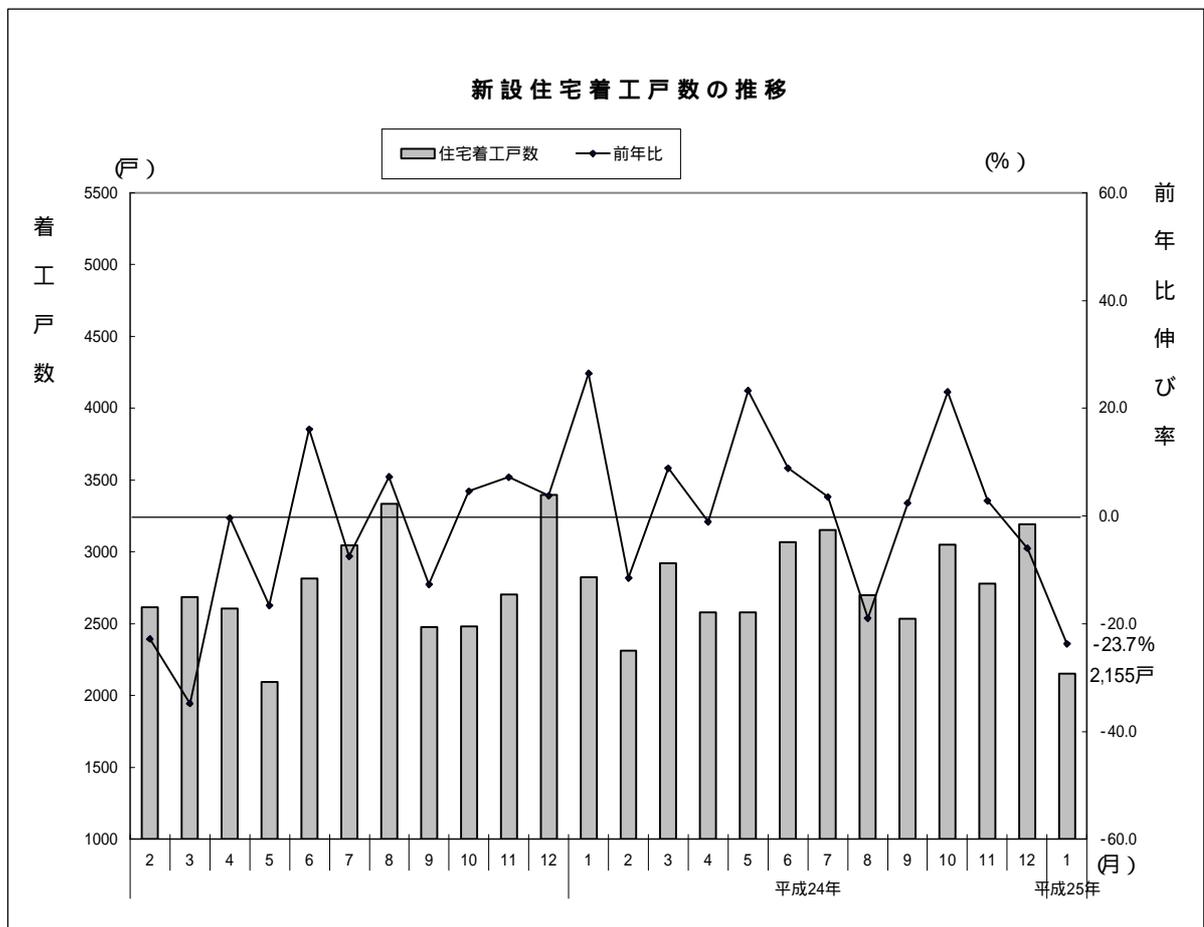
1月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	513	550	339	277	82	249	53	27	21	44	2,155
前月比	-173	-320	-88	-217	-75	-96	-56	-17	-12	16	-1,038

資料：兵庫県住宅計画課

平成25年1月の新設住宅着工累計は、総数で27,790戸、前年同期比14戸の増加となった。利用関係別では「持家」が9,196戸(前年同期比0.1%減)、「分譲住宅」が10,104戸(同2.0%減)、「貸家」が8,125戸(同0.5%増)、「給与住宅」が365戸(同108.6%増)となった。



【公共工事】

2月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況で見ると、件数は230件で前年同月比47.1%の減少、請負金額は120億70百万円で同7.3%の減少となり、金額ベースでは5か月ぶりに前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「独立行政法人等」が前年同月比438.7%、「その他の団体」同30.7%、「国」同26.4%の増加となったものの、「兵庫県」同42.6%、「神戸市」同35.1%、「神戸市を除く市町」同10.6%の減少となり、前年同月を下回った。

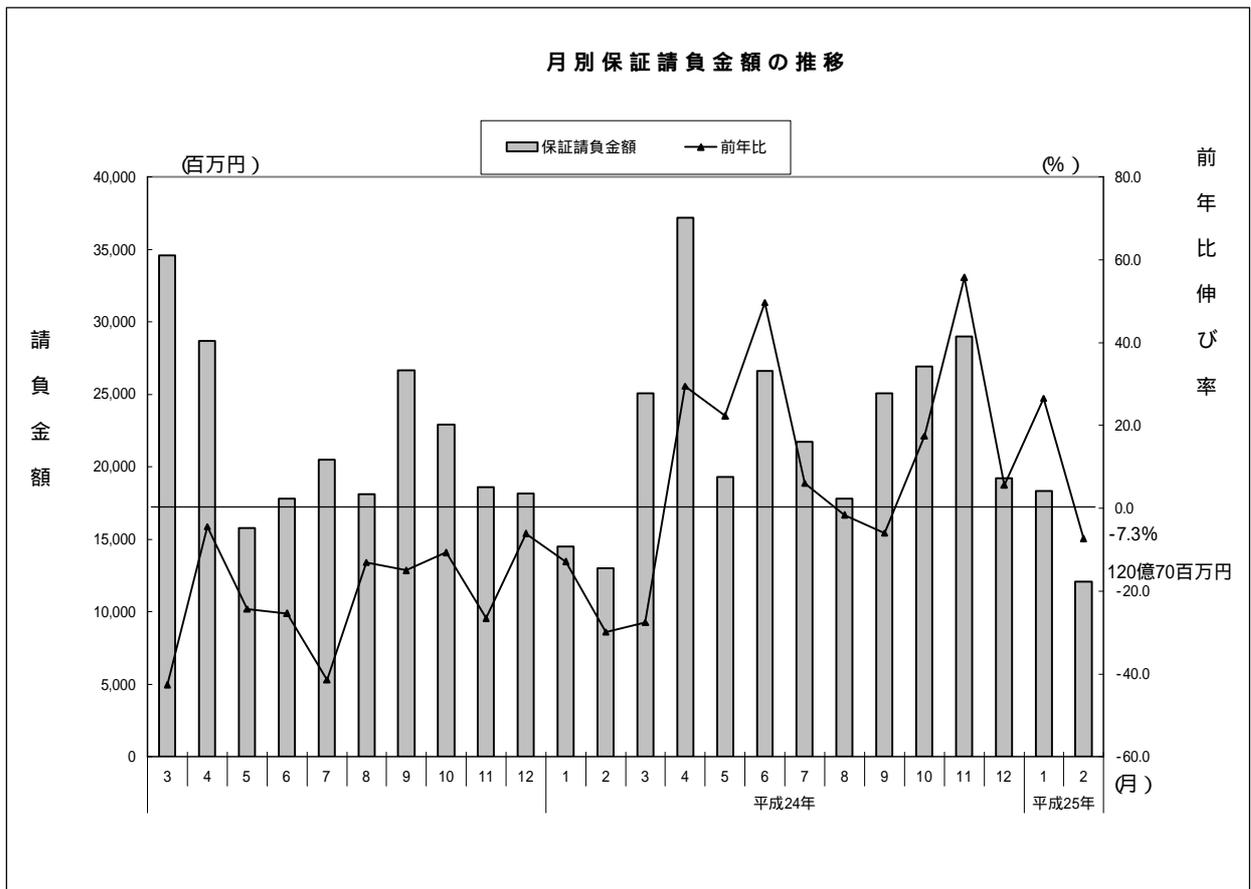
地域別(金額ベース)では、阪神北(前年同月比187.4%増) 阪神南(同80.2%増) 神戸市(同21.8%増)で増加、丹波(同63.8%減) 北播磨(同42.4%減) 中播磨(同32.0%減) 淡路(同28.8%減) 西播磨(同22.9%減) 但馬(同19.4%減) 東播磨(同14.4%減)で減少となった。

2月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	17(29.2)	3,691(26.4)	名塩道路八幡トンネル工事 加古川下流部河道掘削工事 八鹿日高道路小佐川橋上部工事
独立行政法人等	12(71.4)	1,822(438.7)	
兵庫県	101(57.6)	3,306(42.6)	
神戸市	37(17.8)	1,084(35.1)	
神戸市を除く市町	58(46.3)	1,897(10.6)	
その他の団体	5(61.5)	267(30.7)	
合計	230(47.1)	12,070(7.3)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成25年1月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は5,892億円、前年同月比5.3%の増加で、総額ベースで14か月ぶりに増加となった。輸出は、建設用・鉱山用機械などが減少したものの、重電機器、鉄道用車両などが増加した。一方、輸入は、肉類および同調製品などが減少したものの、金属鉱およびくず、無機化合物などが増加した。

輸出は3,521億円(前年同月比7.5%増)と14か月ぶりに増加した。

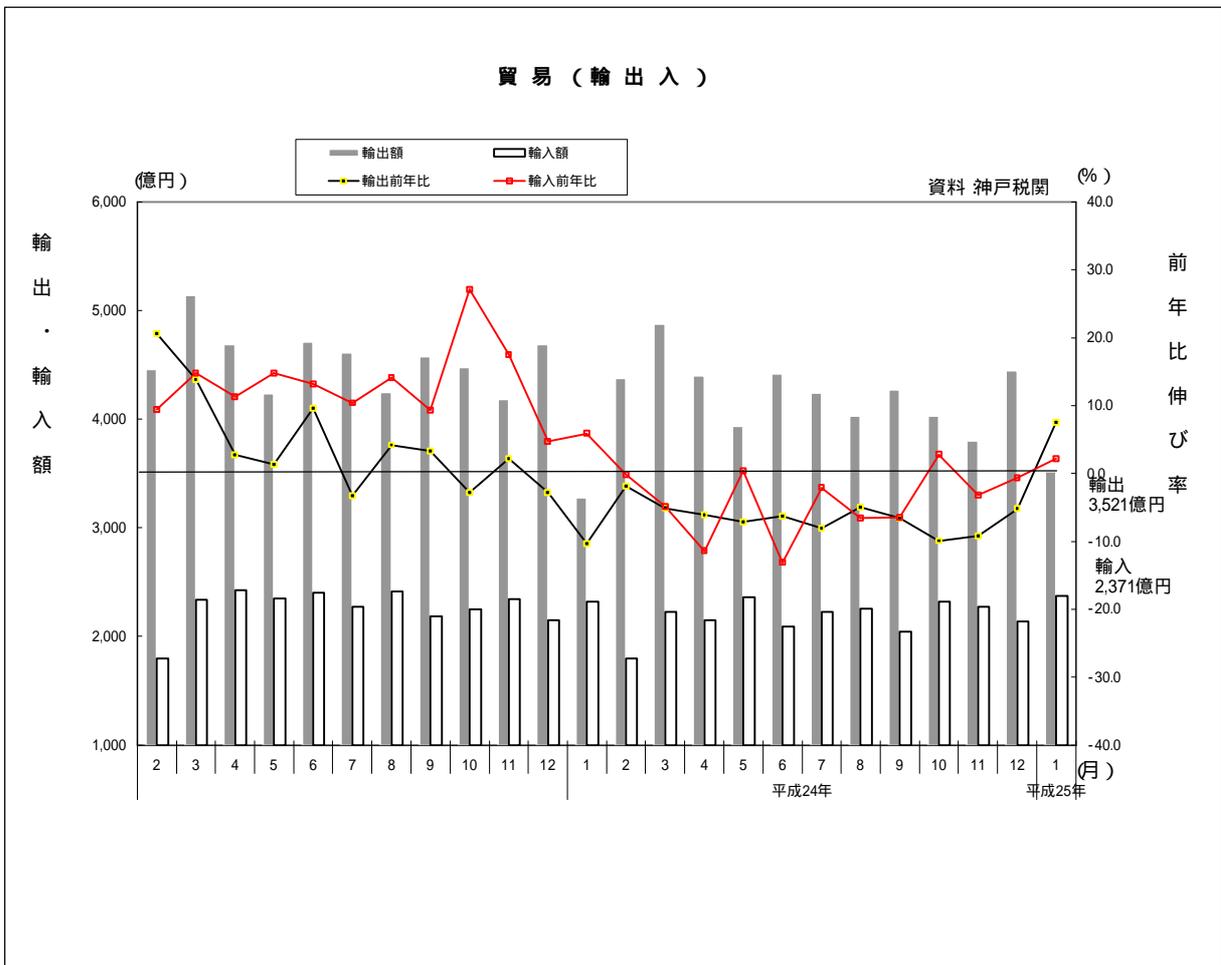
主要品目では、プラスチック(前年同月比13.2%増、4か月ぶりにプラス)、織物用糸および繊維製品(同1.7%増、8か月ぶりにプラス)が増加し、建設用・鉱山用機械(同21.5%減、2か月ぶりにマイナス)、原動機(同3.5%減、3か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比27.0%増、7か月連続プラス)、アジア(中国含む)(同4.4%増、16か月ぶりにプラス)が増加し、EU(同5.2%減、9か月連続マイナス)中国(同2.5%減、16か月連続マイナス)が減少した。

輸入は2,371億円(前年同月比2.2%増)と3か月ぶりに増加した。

主要品目では、有機化合物(前年同月比11.9%増、4か月連続プラス)が増加し、衣類および同付属品(同13.0%減、3か月連続マイナス)、たばこ(同12.4%減、6か月ぶりにマイナス)、非鉄金属(同5.0%減、2か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比17.6%増、2か月連続プラス)、EU(同10.1%増、2か月連続プラス)が増加し、アジア(中国含む)(同2.7%減、3か月連続マイナス)、中国(同6.2%減、8か月連続マイナス)が減少した。



【物 価】『消費者物価』

2月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が98.7(平成22年=100)となり、前月比は変わらず、前年同月比は1.4%下落となった。生鮮食品を除く総合指数は98.9となり、前月比は0.2%上昇、前年同月比は0.8%下落となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は98.4となり、前月比は0.1%上昇、前年同月比は0.7%下落となった。

前月からの動きを見ると、自動車等関係費の上昇により「交通・通信」が0.3%、教養娯楽用耐久財などの上昇により「教養娯楽」が0.2%、衣料の上昇により「被服及び履物」が0.5%、理美容用品の上昇により「諸雑費」が0.1%、保険医療用品・器具などの上昇により「保健医療」が0.1%、それぞれ上昇した。しかしながら、野菜・海藻などの下落により「食料」が0.4%、ガス代などの下落により「光熱・水道」が0.5%、家庭用耐久財などの下落により「家具・家事用品」が0.7%、それぞれ下落した結果、総合では変わらずとなった。

2月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	98.7	97.1	101.9	104.9	96.2	96.1	97.1	98.8	100.2	92.3	102.4	98.9	98.4
前月比	0.0	-0.4	0.0	-0.5	-0.7	0.5	0.1	0.3	0.0	0.2	0.1	0.2	0.1
前年同月比	-1.4	-3.7	0.4	0.3	-1.6	-1.2	-1.5	0.4	0.1	-3.5	0.0	-0.8	-0.7

(注)平成22年=100

資料：兵庫県統計課

対前月比値上がりした主な品目

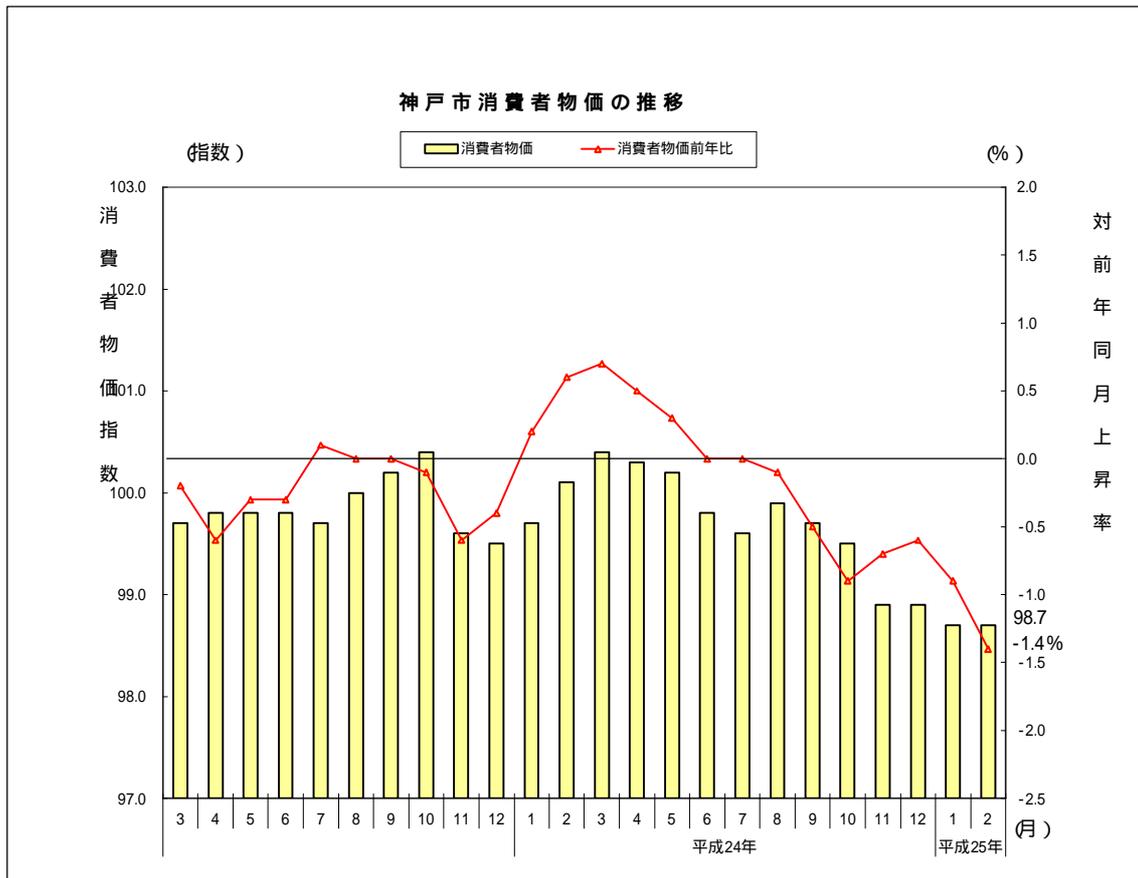
自動車等関係費 (+ 0.6%)・・・ガソリン、自動車タイヤ

教養娯楽用耐久財 (+ 1.9%)・・・テレビ、電子辞書、パソコン(ノート型)

対前月比値下がりした主な品目

野菜・海藻 (- 4.0%)・・・ブロッコリー、生しいたけ、ほうれんそう

ガス代 (- 1.4%)・・・都市ガス代



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が3月12日に発表した、企業物価指数(速報)による2013年2月の企業物価指数は次のとおり。

2月の企業物価指数

(速報、2010年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	101.0	0.4	0.1
輸 出 物 価	105.9	3.3	10.5
輸 入 物 価	120.4	4.0	13.2

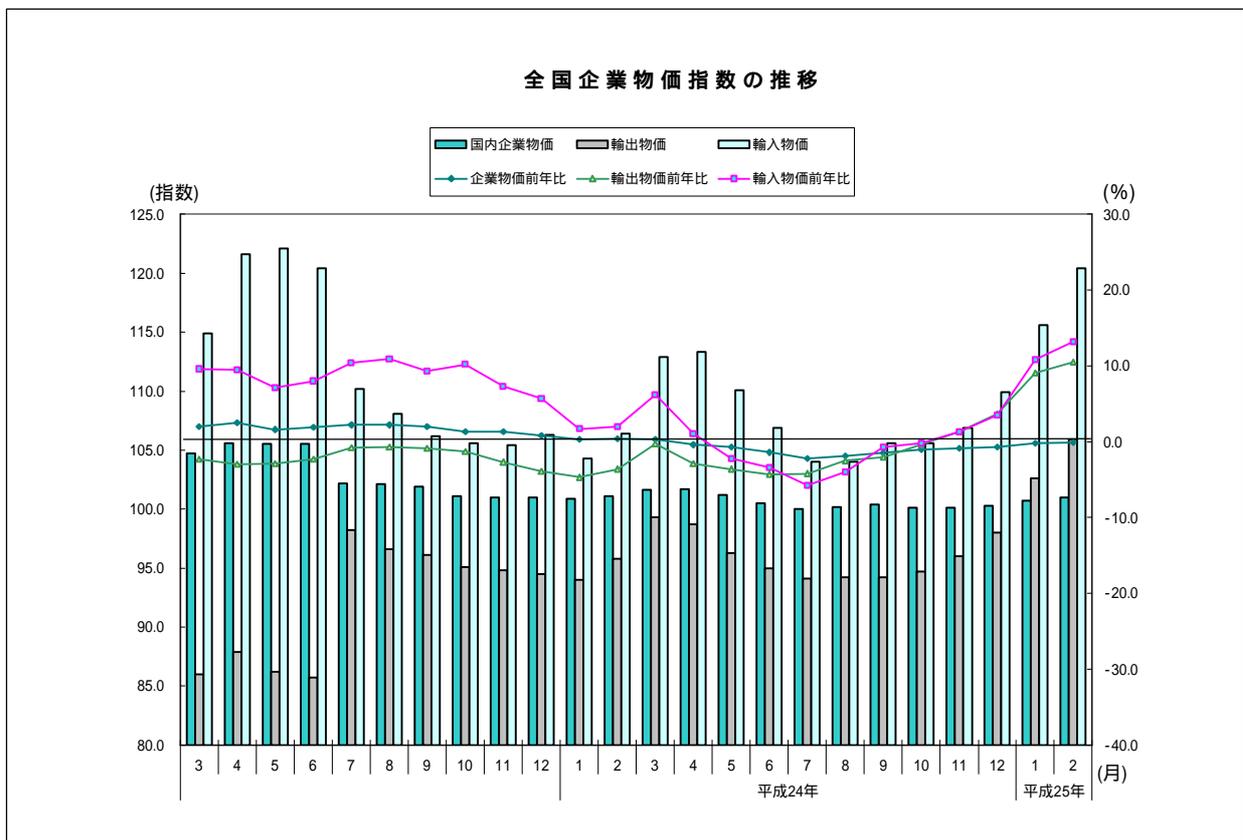
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、石油・石炭製品(前月比+3.6%<ガソリンなど>)、非鉄金属(同+2.7%<銅地金など>)、化学製品(同0.8%<プロピレンなど>)、農林水産物(同+1.1%<鶏卵など>)、スクラップ類(同+5.9%<鉄くずなど>)等が上昇、電力・都市ガス・水道(同-0.5%<産業用特別高圧電力など>)等が下落し、全体では前月比0.4%の上昇となった。

前年同月比では0.1%下落し、11か月連続でマイナスとなった。
円安で石油・石炭製品や非鉄金属などの輸入価格が上昇した。

輸出物価は、化学製品(同+4.9%<パラキシレンなど>)、輸送用機器(同+3.3%<普通乗用車など>)、金属・同製品(前月比+4.1%<鉄くず、銅地金など>)、その他産品・製品(同+3.5%<ジェット燃料油など>)等が上昇し、円ベースでは前月比3.3%の上昇(前年同月比+10.5%)となった。

輸入物価は、石油・石炭・天然ガス(同+5.3%<液化天然ガスなど>)、金属・同製品(前月比+4.5%<銅鉱、白金地金など>)、その他産品・製品(同+4.1%<プラスチックフィルム・シートなど>)等が上昇し、円ベースでは前月比4.0%の上昇(前年同月比+13.2%)となった。



【雇 用】 更新未了

(1) 求人状況

県内1月の新規求人数(全数)は、29,070人(前年同月比7.3%増、前月比35.8%増)で、18か月連続で前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は68,817人(前年同月比6.4%増、前月比4.6%増)で33か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比2.9%増で35か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同16.1%増で14か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同16.6%減で3か月連続して前年を下回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比23.6%増)、情報通信業(同25.0%増)、運輸業、郵便業(同1.8%増)、卸売業、小売業(同7.0%増)、宿泊業、飲食サービス業(同24.5%増)、医療、福祉(同15.0%増)は前年を上回ったが、製造業(同9.3%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同4.4%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同7.6%減)、サービス業(同2.7%減)は前年を下回った。

(2) 求職状況

1月の新規求職申込件数(全数)は、24,723件(前年同月比2.1%増、前月比64.6%増)で、3か月ぶりに前年を上回った。また、月間有効求職者数(全数)は90,047人(前年同月比0.7%減、前月比2.0%増)で32か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比2.9%増で3か月ぶりに前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同0.8%増で8か月ぶりに前年を上回った。また、臨時・季節については、前年同月比17.0%減で5か月連続して前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比11.9%増で5か月連続、事業主都合離職者は同2.0%増で4か月連続、自己都合離職者は同5.0%増で2か月ぶりに前年を上回ったが、自営・他は同8.6%減で20か月連続、無業者は同17.4%減で13ヶ月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、25,801人(前年同月比4.5%増)で、3ヶ月ぶりに前年を上回った。

(3) 求人倍率状況

1月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.13倍で前月を下回り、有効求人倍率については0.71倍で4か月ぶりに上昇した。

(4) 失業者の状況

1月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.2%、完全失業者数(原数値)は273万人(前年同月比18万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は5.1%(前年同月比0.2ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は53万人(前年同月比1万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
25年1月	29,070	2,295	2,785	385	1,557	4,726	207	581	739	2,343	1,173	7,549	3,163
前年同月比	7.3	23.6	9.3	25.0	1.8	7.0	32.7	27.4	4.4	24.5	7.6	15.0	2.7

(単位：人、前年同月比増減率：%)

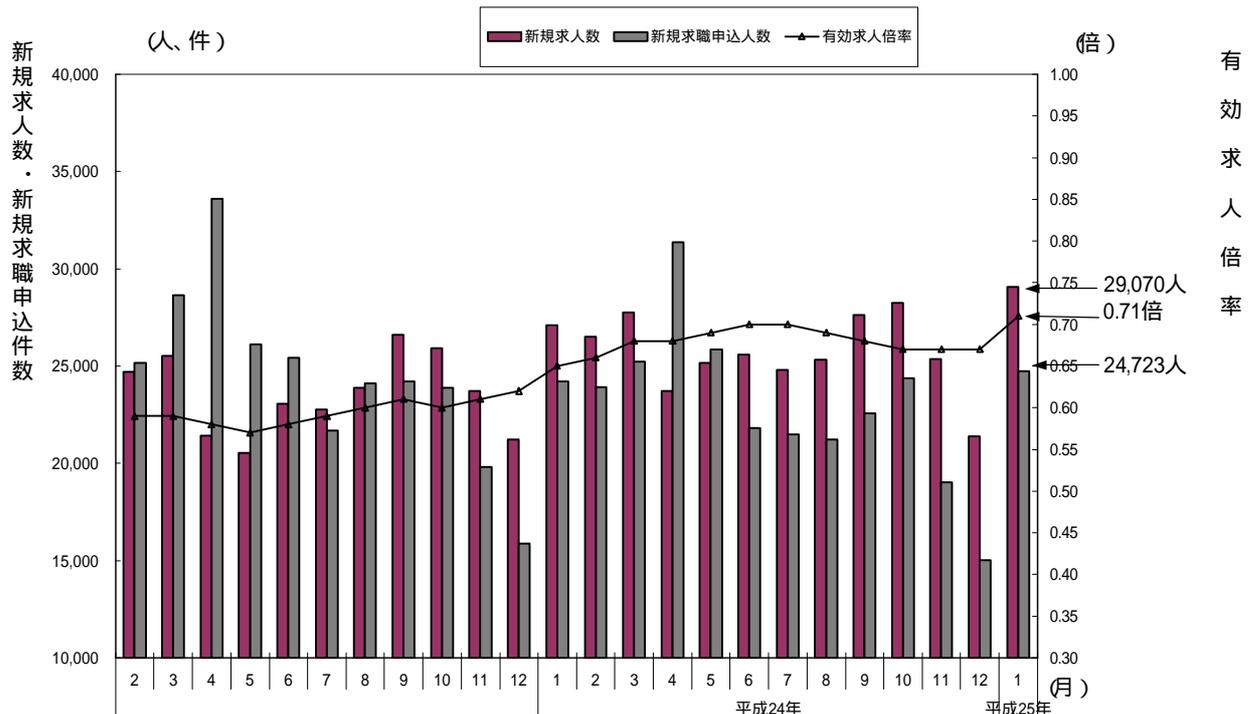
資料：兵庫労働局

雇用・賃金の推移

項目・年月	11/10-12	12/1-3	12/4-6	12/7-9	12/11	12/12	13/1
有効求人倍率 (季調済、倍)	0.62	0.66	0.69	0.69	0.67	0.67	0.71
新規求人数 (原数値、前年比%)	3.0	6.8	14.5	6.1	6.9	0.8	7.3
所定外労働時間 (規模5人以上、前年比%)	2.3	2.2	5.0	3.6	6.5	7.0	4.3
常用労働者数 (規模5人以上、前年比%)	0.6	0.0	0.6	0.6	0.6	0.5	0.9
一人当り名目賃金 (規模5人以上、前年比%)	0.3	1.3	2.9	2.5	2.0	0.5	0.7

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部

県下求人・求職状況の推移



注：新規学卒者を除きパートタイムを含む。

【信用保証】

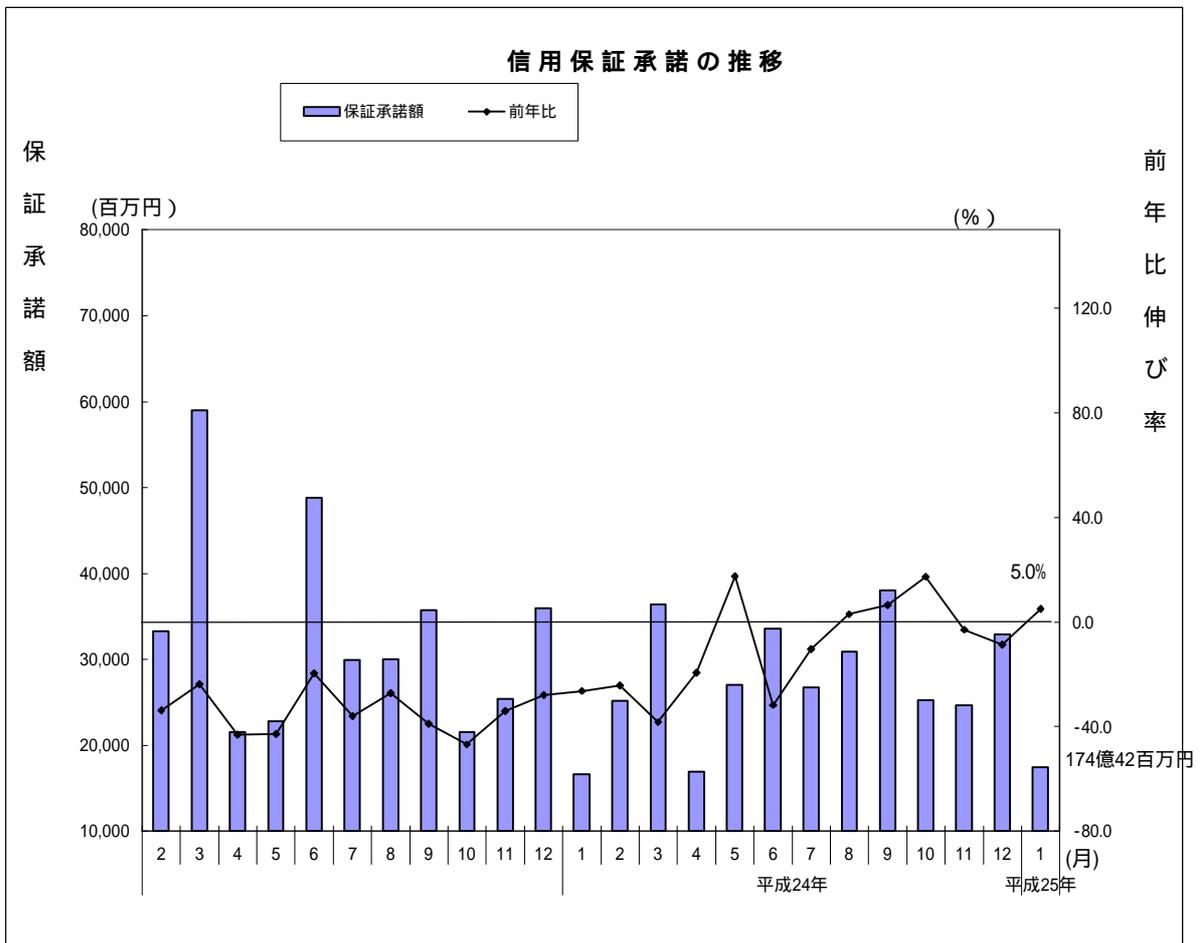
兵庫県信用保証協会による1月の保証承諾実績は、件数で1,089件（前年同月比6.5%減）、金額は174億42百万円（同5.0%増）となり、件数では前年実績を下回ったものの、金額では前年実績を上回った。

資金用途別では、運転資金15,980百万円（前年同月比5.6%増）、設備資金518百万円（同75.0%増）となり、運転資金、設備資金とも前年同月を上回った。

業種別（金額ベース）では、「小売業」2,355百万円（前年同月比26.5%増）、「製造業」3,429百万円（同17.3%増）、「不動産業」933百万円（同11.4%増）、「建設業」5,161百万円（同11.0%増）、「サービス業」2,107百万円（同4.2%増）で前年同月を上回り、「運送・倉庫業」689百万円（同13.0%減）、「飲食店」280百万円（同21.6%減）、「卸売業」2,362百万円（同22.9%減）で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、137件（前年同月比14.4%減）、16億25百万円（同29.9%減）となった。

1月末の保証債務残高は、108,816件（前年同月比5.3%減）、1兆2,553億円（同8.5%減）となった。



【金融】

1月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	143,394	2.9	55,239	0.8
地方銀行	24,078	2.1	20,642	5.5
第二地方銀行	31,714	2.8	19,954	1.5
信用金庫	79,210	0.8	37,398	2.2
その他	17,276	2.2	17,107	0.6
計	295,672	2.2	150,340	0.1

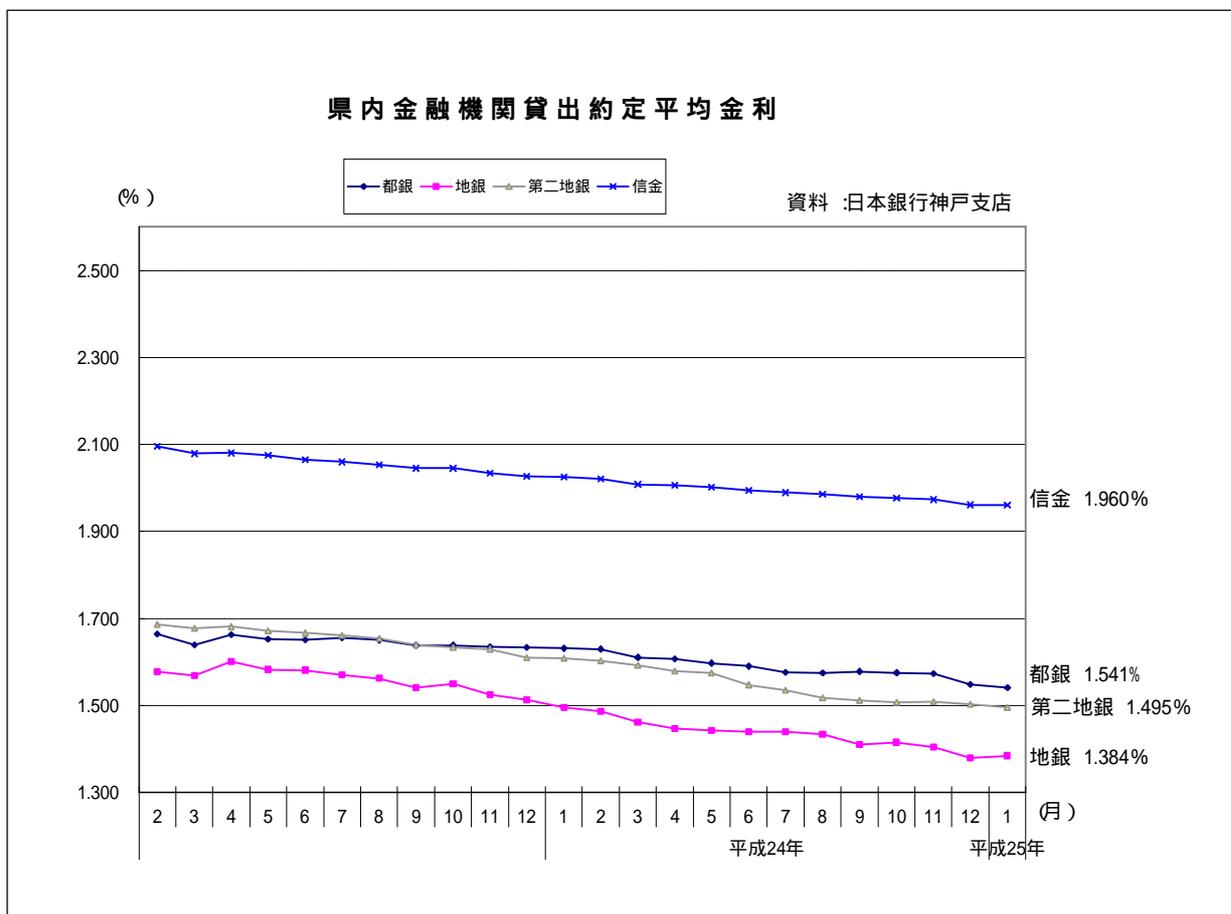
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

1月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比+2.2%)

1月の貸出は、前年並みの水準で推移している。(前年比0.1%)

1月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(1月末水準 1.657%、前月比 0.004%ポイント)。



【倒 産】

県内2月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は47件で前年同月比13.0%の減少、負債総額は34億92百万円で同79.8%の減少となった。

倒産件数は、前月比4件の減少となり、2月単月では過去10年間(平成16年以降)で2番目に少ない件数となった。負債総額は、10億円以上の大型倒産が1件にとどまったうえ、5億円以上10億円未満の倒産がなく、2月単月では過去10年間で最小となった。

原因別(件数)では、「販売不振」を中心とする「不況型倒産」が37件(全体の78.7%)を占めた。

業種別(件数)では、「不動産・サービス他業」が16件でトップ。なお、中小企業金融円滑化法を利用した企業の倒産は1件発生している。

「資本金別」では、「1千万円未満(個人企業含)」の件数が36件で、当月も小規模事業者の倒産が特徴的であった。

「産業別」では、「サービス・他業」が12件でトップ、「建設」、「運輸」、「不動産業」が前月を上回った。

県下の企業倒産は、2月度の件数が50件を下回り3ヶ月連続で前月比減少となり、前年同様の傾向が続いているといえる。中小・零細企業などの倒産抑制に大きな効果がみられた「中小企業金融円滑化法」は、3月をもって終了を迎える。この出口戦略として政府は、事業再生を支援する機構の充実や、資金調達多様化による資金繰り支援などの各種政策を表明している。これら事業再生、経営改善を主とする柔軟な対応の継続から、懸念されていた倒産激増は回避できるとみられる。ただ、短期的には円安による石油製品、輸入原材料価格の高騰などの影響が心配されることもあり、企業倒産は増減を繰り返しながらも緩やかな増勢気配にあるものとみられる。

2月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	4	4	0	5	-1	金属・機械・電気	6	8	-2	3	3
過小資本	3	2	1	7	-4	化学・薬品	0	1	-1	0	0
連鎖倒産	1	1	0	2	-1	ゴム・皮革・ケミカル	0	1	-1	2	-2
赤字累積	6	6	0	3	3	食品	4	2	2	7	-3
販売不振	31	34	-3	35	-4	建設	9	8	1	15	-6
売掛金回収難	0	0	0	0	0	不動産・サービス	16	17	-1	9	7
その他	2	4	-2	2	0	運輸・通信他	12	14	-2	18	-6
合計	47	51	-4	54	-7	合計	47	51	-4	54	-7

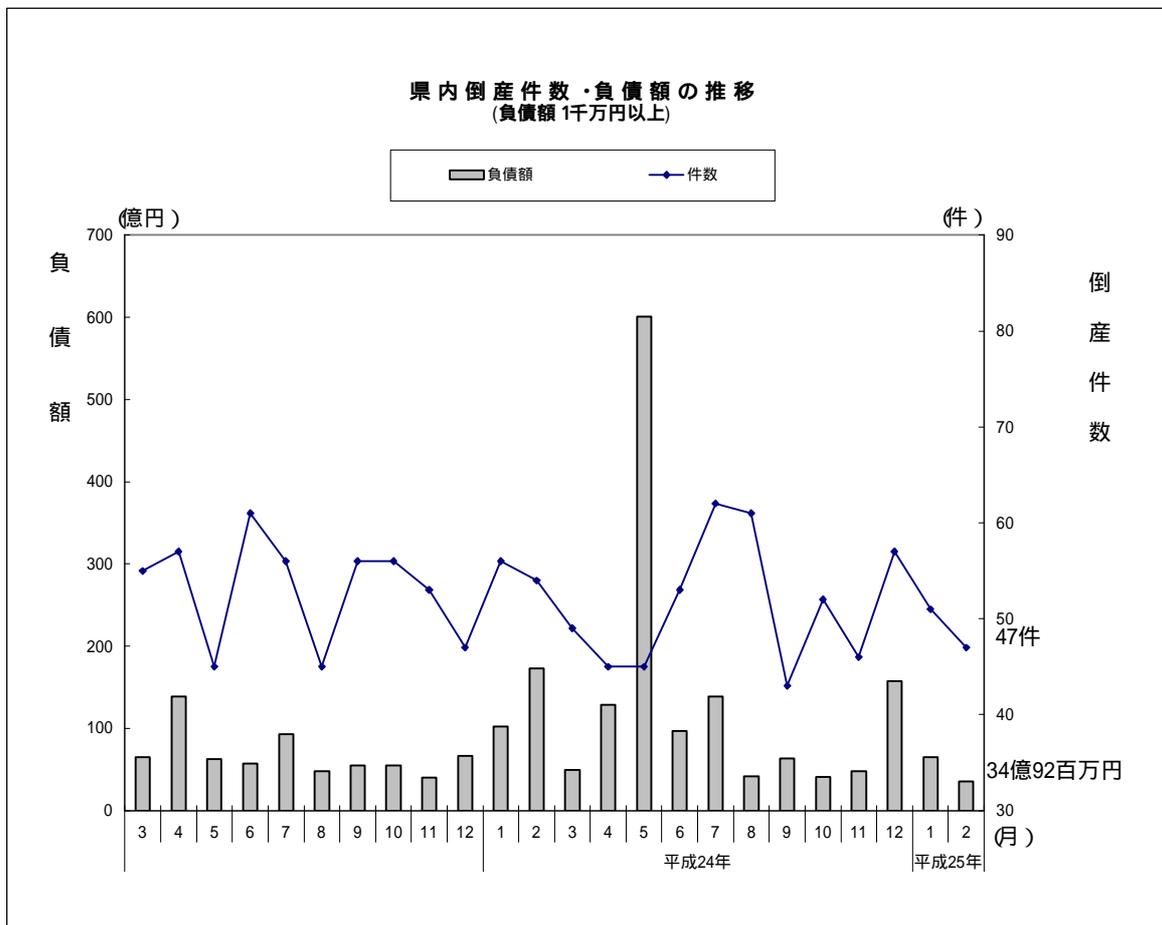
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額 1,000 万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1.0	0.9
24年 平均	51.9	16.0	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 1月	51	13	19	8	3	5	2	1
25年 2月	47	9	21	10	6	0	1	0

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数			
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国	
	指数	前月比	指数	前月比	金額 (億円)	前年比	前年比	戸数 (戸)	前年比	前年比	
24年	1月	102.9	3.0	95.2	1.9	145	-12.9	8.5	2,823	26.5	-1.1
	2月	99.0	-1.2	94.4	-1.6	130	-29.9	16.8	2,314	-11.5	7.5
	3月	97.9	-2.9	95.3	1.0	251	-27.6	8.0	2,923	8.9	5.0
	4月	96.3	1.5	95.4	-0.2	372	29.5	5.4	2,579	-1.1	10.3
	5月	95.0	-0.2	92.2	-3.4	193	22.3	36.7	2,581	23.3	9.3
	6月	94.0	-1.3	92.6	0.4	266	49.6	14.1	3,066	8.8	-0.2
	7月	95.7	1.5	91.7	-1.0	217	6.0	26.6	3,152	3.5	-9.6
	8月	91.6	-4.4	90.2	-1.6	178	-1.6	19.2	2,699	-19.0	-5.5
	9月	93.6	1.6	86.5	-4.1	251	-6.0	-1.9	2,534	2.4	15.5
	10月	86.7	-7.5	87.9	1.6	269	17.4	28.2	3,051	23.0	25.2
	11月	84.5	-2.4	86.4	-1.7	290	55.7	6.2	2,780	2.8	10.3
	12月	r 88.3	4.4	88.8	2.4	192	5.6	15.6	3,193	-6.0	10.0
25年	1月	p 87.7	-0.7	89.1	0.3	183	26.5	6.7	2,155	-23.7	5.0
	2月					120	-7.3	-4.8			
	3月										
	4月										
	5月										
	6月										
	7月										
	8月										
	9月										
	10月										
	11月										
	12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省	

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)				
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入		
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比	
24年	1月	14,266	40.4	38.4	196	-1.7	-1.2	3,277	-10.3	2,319	5.9
	2月	18,388	31.4	31.7	156	2.3	-0.5	4,375	-1.9	1,796	-0.2
	3月	24,941	68.1	76.3	179	2.3	14.2	4,879	-5.1	2,225	-4.9
	4月	11,728	103.0	99.5	165	-1.7	1.6	4,398	-6.1	2,151	-11.4
	5月	12,881	68.6	68.6	165	2.7	-0.9	3,935	-7.1	2,359	0.4
	6月	16,893	47.4	46.8	164	-0.2	-1.2	4,418	-6.3	2,088	-13.1
	7月	16,384	43.0	42.3	203	-1.4	-3.3	4,239	-8.1	2,227	-2.1
	8月	11,762	14.6	15.6	151	0.6	-0.8	4,032	-5.0	2,256	-6.6
	9月	15,226	-4.2	-3.7	147	2.1	-0.0	4,271	-6.6	2,041	-6.5
	10月	11,441	-6.3	-6.7	169	0.2	-2.2	4,032	-9.9	2,318	2.8
	11月	12,576	-3.9	0.2	185	4.2	2.5	3,800	-9.2	2,271	-3.2
	12月	11,342	-2.3	-2.0	258	0.3	-1.0	r 4,446	-5.2	r 2,137	-0.6
25年	1月	13,378	-6.2	-7.4	192	4.6	-3.5	p 3,521	7.5	p 2,371	2.2
	2月	16,941	-7.9	-8.1	143	-0.9					
	3月										
	4月										
	5月										
	6月										
	7月										
	8月										
	9月										
	10月										
	11月										
	12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局		神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
24年 1月	0.65	0.73	1,053	5.2	98.7	-0.2	99.7	0.2	99.6	0.1
2月	0.66	0.75	1,049	5.1	98.9	-0.3	100.1	0.6	99.8	0.3
3月	0.68	0.76	1,043	4.7	100.1	-1.0	100.4	0.7	100.3	0.5
4月	0.68	0.79	1,053	4.4	100.5	-0.3	100.3	0.5	100.4	0.4
5月	0.69	0.81	1,052	4.0	98.8	-0.9	100.2	0.3	100.1	0.2
6月	0.70	0.82	1,051	3.8	100.2	0.1	99.8	0.0	99.6	-0.2
7月	0.70	0.83	1,054	3.8	100.0	-0.1	99.6	0.0	99.3	-0.4
8月	0.69	0.83	1,051	3.9	99.6	0.1	99.9	-0.1	99.4	-0.4
9月	0.68	0.81	1,052	4.4	99.3	-0.5	99.7	-0.5	99.6	-0.3
10月	0.67	0.80	1,047	4.2	99.3	-0.6	99.5	-0.9	99.6	-0.4
11月	0.67	0.80	1,048	4.0	99.8	-1.6	98.9	-0.7	99.2	-0.2
12月	0.67	0.82	1,048	4.0	100.4	0.5	98.9	-0.6	99.3	-0.1
25年 1月	r 0.71	0.85	1,040	-1.2	99.4	0.7	r 98.7	-0.9	99.3	-0.3
2月							p 98.7	-1.4		
3月										
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課			兵庫県統計課		総務省		

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産 (負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他
24年 1月	100.9	0.3	150,149	-0.9	1.452	56	102	14	19	23
2月	101.1	0.4	149,482	-1.3	1.442	54	173	17	23	14
3月	101.6	0.3	152,152	-1.3	1.428	49	49	15	23	11
4月	101.7	-0.4	150,310	-0.6	1.424	45	128	14	14	17
5月	101.2	-0.7	150,352	-0.3	1.421	45	601	16	18	11
6月	100.5	-1.4	150,636	0.3	1.409	53	97	18	25	10
7月	100.0	-2.2	150,531	-0.1	1.403	62	138	16	28	18
8月	100.2	-1.9	150,189	0.3	1.401	61	41	22	22	17
9月	100.4	-1.5	151,823	0.8	1.385	43	63	15	14	14
10月	100.1	-1.0	149,833	0.1	1.383	52	41	22	11	19
11月	100.1	-0.9	150,053	0.0	1.378	46	48	12	17	17
12月	100.3	-0.7	151,415	-0.1	1.364	57	157	11	19	27
25年 1月	r 100.6	-0.2	150,340	0.1	1.358	51	65	13	19	19
2月	p 101.0	-0.1				47	34	9	21	17
3月										
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値